

建築文化賞

住宅

建築主：松本氏

設計：株式会社井上尚夫総合計画事務所

施工：北野建設株式会社

所在地：松戸市

暮らしを楽しむ仕掛けを創る

さるすべり 百日紅のある家



西側前面道路から車寄せアプローチ越しに見る外観

(撮影/ヴィブラフォト 浅田 美浩)

緑の多い起伏に富んだ丘陵地の一角、静かな住宅地の中にある、敷地面積830.14㎡、延べ床面積455.49㎡、鉄筋コンクリート造2階建て、一部地下階を有する大型の住宅である。水平に伸びたアプローチ、母屋の屋根の形や全体のプロポーションが美しく格調の高い佇まいを見せている。

住まいづくりのテーマの第一は、高齢期に備えて安心して暮らせること。起伏の多い坂道からのアクセスと敷地の高低差を、長いアプローチ空間を巧みに生かして解決している。平面計画においては、接客等の活動的な時間のための空間を1階に、2階にはプライベートな寝室部分を効率的に配し、安心の暮らしを確保している。

第二には、趣味の時間を大切に、暮らしを楽しむ仕掛けを創ること。特徴的な形状の既存車庫と新築住宅は、樹形の美しい百日紅の木を中心に、中庭を囲いこむようにコの字型に配置され、リビングの大きな開口部を開くと、ガラス張りの車庫に並ぶ趣味の車がいつでも視野に入るようになっている。それぞれの居室に応じて個性を持った庭

が配され、何処にいても視線の先に緑があり、暮らしの中で自然との一体感を感じ、楽しめる空間構成も巧みだ。

建物全体に新しさの中に伝統を重んじ、吟味した材料を生かし、引き立たせるようなディテールが随所に工夫されている。設計者と大工職をはじめとする優れた技術を持った職人が、丁寧に造り上げた作品といえる。

表千家不審菴を参考にして設えられたという、茶庭を持つ三畳台目のお茶室で茶事が催され、茶室が息づいている時に、客人としてぜひ訪れてみたいと思った。

(夏目 幸子)



南庭より大刈り込み、テラス越しに見るリビング外観



車寄せより玄関への
回廊状アプローチ階段を見る